

※最初の質問から一問一答方式を選択

# 一般質問通告表

平成26年第6回沖縄県議会(定例会)

12月17日(水)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
1	17分	島袋 大(自民党)	知事
質問要旨			
1 知事の政治姿勢について (1) 日米安保について (2) 辺野古埋立承認についての認識について (3) 普天間飛行場の危険性除去について 2 我が党の代表質問との関連について			

# 一般質問通告表

平成26年第6回沖縄県議会(定例会)

12月17日(水)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
2	17分	花城 大輔(自民党)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
<p>1 知事の政治姿勢について</p> <p>(1) 知事選出馬時の記者会見における知事の答弁のあり方についてお聞きしたい。</p> <p>(2) 保守・革新といった表現を多く用いる知事自身の「保守・革新」といった言葉の定義について改めてお聞きしたい。</p> <p>(3) 同じく、「イデオロギー・アイデンティティー」といった言葉の定義について改めてお聞きしたい。</p> <p>(4) 知事就任挨拶についてお聞きしたい。</p> <p>2 東部海浜開発事業について</p> <p>(1) 本事業の知事の認識についてお聞きしたい。</p> <p>(2) 本事業の今後の計画についてお聞きしたい。</p> <p>3 牧港補給基地移設計画について</p> <p>(1) 本計画の知事の認識についてお聞きしたい。</p> <p>(2) 本計画の今後の進め方についてお聞きしたい。</p> <p>4 我が党の代表質問との関連について</p>			

# 一般質問通告表

平成26年第6回沖縄県議会(定例会)

12月17日(水)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
3	17分	新垣 良俊(自民党)	知事

## 質 問 要 旨

### 1 知事の政治姿勢について

- (1) 普天間飛行場問題の解決について、知事の基本的な考え方を伺いたい。
- (2) 普天間飛行場問題解決の具体的な時期の見通しをお示してください。
- (3) 一括交付金の市町村配分については、現状の配分基準どおりに配分を行うか伺いたい。

### 2 沖縄県の経済について

- (1) 例年12月末には沖縄関連予算が答申されてきました。今回、衆議院選挙のあおりを受けて、沖縄関連予算が来年1月末にずれ込むことになる。県内の経済に影響があると思うかどうか。
- (2) 先月の21日に「経済再生と財政再建に向けて」衆議院を解散しました。安倍総理は「アベノミクス解散」と名づけた上で、「アベノミクス」を前に進めるのか、とめてしまうのかを問う選挙であると述べています。県内の経済状況を見て「アベノミクス」をどう評価しているか伺いたい。
- (3) 安倍総理の政権復帰後、「強い経済をとり戻す」と訴え、2年間で完全失業率の好転や有効求人倍率も好調に推移し、倒産件数も2割減少と経済指標が改善している。県内でも有効求人倍率、完全失業率も好転しているが、現状について考えを伺いたい。

### 3 公共工事等の入札不調・不落について

- (1) 県の公共工事で労務費用の増額等に伴い、契約金額の変更があるが、契約時点で対応、対策がとれなかったのか伺いたい。
- (2) 契約金額の変更は、労務費用だけではなく資材等の高騰もその要因となっていると思うが、県の指導はどうなっているか伺いたい。
- (3) 今議会で、契約変更が5件上程されているが、契約書の中に労務費用の増額に伴う条項があって契約金額の変更になっているのか。
- (4) 今年度、入札の不調・不落により、契約締結ができなかった工事件数について伺いたい。

### 4 子ども生活福祉行政について

- (1) 生活困窮者自立支援制度について
  - ア 来年4月から制度が始まるが、衆議院選挙のあおりで国の予算編成作業がおくれているが、県を初め自治体の対応は大丈夫か伺いたい。
  - イ 制度には、自治体で実施する事業にはどんなものがあるか。また、事業の計画の準備は順調に進んでいるか伺いたい。
  - ウ 生活保護の申請は、町村は各福祉保健所で、市の場合は市で受け付けになっているが、生活困窮者自立支援制度も同様の対応になるのか伺いたい。
  - エ 制度の費用負担区分はどうなるか。

### 5 教育行政について

- (1) 家庭教育力促進「やーなれー」事業について
  - ア 家庭教育力促進「やーなれー」事業とはどのような事業か伺いたい。
  - イ 事業の進捗状況はどうなっているか伺いたい。
  - ウ 今後の取り組みについて伺いたい。

## 6 我が党の代表質問との関連について

※最初の質問から一問一答方式を選択

# 一般質問通告表

平成26年第6回沖縄県議会(定例会)

12月17日(水)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
4	17分	又吉 清義(自民党)	知事
質問要旨			
<p>1 基地行政について 前仲井眞県政は、町のだ真ん中にあり世界一危険と言われている普天間飛行場を、9万5000市民の生命と財産を守り、その隣接市町村30万余の生命、財産を守る上からも、一日も早い危険性除去のためにあらゆる選択肢の中で、具体的に9年と11カ月で普天間飛行場を町のだ真ん中から完全に動かすことのできる現実的な解決策に取り組みました。</p> <p>(1) 普天間飛行場を動かす原点は何か。</p> <p>(2) 前仲井眞知事の現実的対応と取り組みで、9年と11カ月で町のだ真ん中から基地を動かし、30万余の生命と財産を守るために取り組んでおりましたが、新知事は新基地の県内移設反対、撤回、中止等おっしゃっておりますが、前仲井眞知事よりも一日も早い危険性の除去に向け、何年早くなるのか、その取り組みと明確な答弁を求めます。</p> <p>(3) 前仲井眞知事は一日も早い危険性の除去に向け、さらなる取り組みで5年以内の普天間飛行場の運用停止状態の実現に向け努めてきましたが、新知事は今後何年以内で、何をどのように取り組むのか、具体的に答弁をお願いしたい。</p> <p>(4) 知事の選挙公約、チラシ等に普天間飛行場の一日も早い危険性の除去に向けた取り組みは一切現れてこないが、その理由は。</p> <p>(5) 町のだ真ん中にあり世界一危険と言われる普天間飛行場は今後どうあるべきか。</p> <p>(6) 那覇市長の在任中に浦添への軍港移設を積極的に取り組んだ経緯がありますが、今後はどのように対応をしていくのか、推進、撤回、粛々と進めるのか。</p> <p>(7) 建白書の報道されない真実について、平成25年1月25日の石垣市長中山義隆との確認書はどなたと、どなたが、どのような内容を締結したか。</p> <p>(8) 新知事を支援している党派は、基地問題は国が責任を持って解決するべきであると言われますが、そのように解釈してよろしいでしょうか。</p>			
2 我が党の代表質問との関連について			

※最初の質問から一問一答方式を選択

# 一般質問通告表

平成26年第6回沖縄県議会(定例会)

12月17日(水)

順位	時間	氏名(党派)	答弁を求める者
5	17分	照屋 守之(自民党)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 県民及び自民党政府との信頼構築について</p> <p>(1) 翁長知事は、「ぶれない政治家」と評価され県知事選挙で勝利し、革新政党は県政を奪還して大喜びだが、これまで長年にわたって自民党・保守として翁長知事を支援してきた市民・県民は翁長知事に裏切られたとの失望感が全県下にあることも事実である。知事の見解は。</p> <p>(2) 自民党本部、自公政権も同様に長年にわたる翁長知事との信頼は完全に失われつつあると思う。知事の見解は。</p> <p>2 4年間で実現する選挙公約及び具体的な進め方について</p> <p>(1) 辺野古代替施設建設については「反対」、「つくらせない」。</p> <p>(2) 普天間飛行場の返還については、「県外・国外移設」、「固定化させない」でよいか、知事に伺う。</p> <p>3 オール沖縄、建白書の選挙利用について オスプレイ配備反対のための県民の結束や政府要請のための「オール沖縄」、「建白書」をなぜ県知事選挙で利用したのか。</p> <p>4 衆院選挙の政策・結果を受けて 自民党は、選挙公約で普天間飛行場の返還のために辺野古移設の推進を掲げて大勝し、県民や国民の信任を得た結果となった。県内反対の県民の民意と県内容認の県民・国民の民意の結果を受けて、翁長知事はどのように問題解決を図るのか伺う。</p> <p>5 副知事人事について</p> <p>(1) 自民党OBの政治家2名を副知事に起用した理由と目的。</p> <p>(2) 副知事2人の決意と役割分担は。</p> <p>6 我が党の代表質問との関連について</p>			

# 一般質問通告表

平成26年第6回沖縄県議会(定例会)

12月17日(水)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
6	17分	中川 京貴(自民党)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
<p>1 基地問題について</p> <p>(1) 沖縄県の基地の整理縮小負担軽減について、基本的な知事の考えを伺いたい。</p> <p>(2) 普天間飛行場の県外国外への具体的な解決のスケジュールについて伺いたい。</p> <p>(3) 普天間飛行場・嘉手納飛行場から発生する騒音問題、基地被害について、今後どのように解決していくか伺いたい。</p> <p>(4) 沖縄における基地関連収入について</p> <p>ア 傾斜配分による県の主な事業の内容と今後の活用、また市町村の取り組みについて</p> <p>イ 交付金の目的と配分率の算定について</p> <p>ウ 傾斜配分の内訳と今後の見通しについて</p> <p>エ 傾斜配分の増額について</p> <p>(5) 軍用地跡地利用について</p> <p>ア 基地返還後の跡利用・地主が使用できるまでの日数について。また、地料について支払われているか。</p> <p>イ 先行取得による税の控除は可能か。</p> <p>ウ 等価交換による税の控除は可能か。</p> <p>エ 軍用地返還後の農地からの宅地への変換は可能か。</p> <p>オ 基地返還後の農地転用の件数及び農業委員会の取り組みについて</p> <p>カ 那覇軍港、キャンプ・キンザー、普天間基地及び嘉手納基地の関連収入の合計は年間幾らか。一方、県が作成した「駐留軍用地跡地利用に伴う経済波及効果等検討調査」での上記の基地が返還された場合の経済効果(収入)及び雇用効果はどうか。</p> <p>2 本県観光の将来展望について</p> <p>(1) 屋良朝苗顕彰事業について、県からの支援はできないか。</p> <p>3 本県における子育て支援について</p> <p>(1) 乳幼児医療の無料化制度の経緯について、また財源措置について</p> <p>(2) 乳幼児医療の無料化制度を7歳未満(小学1年)または15歳未満(中学3年)まで段階的に引き上げることはできないか。</p> <p>(3) 引き上げた場合の対象乳幼児数と財源について</p> <p>(4) 本県における乳幼児医療費無料化制度(貸付制度導入)について</p> <p>4 県経済の将来展望について</p> <p>(1) 大型MICE誘致について、本県においても、その経済効果が大きいことから全国的に誘致計画が過熱しており、アジア諸国でも誘致取り組みを強めている。県は立地場所を含め取り組みを加速する中、早くも西原町・与那原町が議会・商工会・町を挙げて全力で取り組んでいるが、県の今後のタイムスケジュール、または県が計画している施設の機能や運営等の基本的な考え方について伺う。</p> <p>5 我が党の代表質問との関連について</p>			

# 一般質問通告表

平成26年第6回沖縄県議会(定例会)

12月17日(水)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
7	17分	新垣 哲司(自民党)	知事
質 問 要 旨			
<p>1 政治姿勢について 知事の憲法観・安全保障等に関する基本姿勢について</p> <p>(1) 憲法9条について翁長知事は、憲法改正には賛成か。また、集団的自衛権についてどうか伺いたい。</p> <p>(2) 日本の安全保障は日本国民全体で考えるべきとしている。翁長知事は、日米安全保障体制について、認める立場にあるか伺いたい。</p> <p>(3) 翁長知事は、もはや保守・革新ではない、保革の対立をあおるのは過去のものとしてオール沖縄を強調しているが、衆議院議員選挙で、沖縄保守である自民党候補追い落としの先頭に立った。そして自分は沖縄の保守で根っからの保守と言っている。保守政治家としての信条や政治姿勢と矛盾しないか伺いたい。</p> <p>2 基地問題について</p> <p>(1) 昨年2月にユインチホテルで開催された県市長会の懇親会と10月に熊本で開催された九州市長会の懇親会の場で、ある市長が「どうして翁長市長は、辺野古移設に対し、かたくなに反対なんですか」との質問に対し、「どうせ国は辺野古に基地をつくる。とめることはできない。しかし、県民はNOの立場でつくらせて、物を言うほうがいい」と発言したそうだが、それは事実か伺いたい。</p> <p>(2) このたびの県知事選挙で、保守系市長の公開質問5の「那覇軍港の浦添移設と普天間基地の辺野古の移設の相違点について」の質問に対して「辺野古は名護市が反対を表明しているが、浦添は平成13年に当時の市長が容認したから」そこに大きな相違点があると回答したのは事実か伺いたい。</p> <p>(3) 去る11月28日の琉球新報の記事に普天間基地の5年以内の運用停止の実現については「辺野古どころは別にして、(運用停止を)やってくれたらありがたい」と知事のコメントが掲載されていましたが、どういう意味か見解を伺いたい。</p> <p>3 我が党の代表質問との関連について</p>			

※最初の質問から一問一答方式を選択

# 一般質問通告表

平成26年第6回沖縄県議会(定例会)

12月17日(水)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
8	17分	新垣 安弘(無所属)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 知事の政治姿勢について</p> <p>(1) 沖縄に対する構造的差別の問題が指摘されているが、基地問題以外においても沖縄に対して差別的な政策がなされているのか。知事の見解を伺いたい。</p> <p>(2) 仲井眞前知事は退任会見で、沖縄と本土の関係について問われ、沖縄以外の都道府県も地域性、歴史がある。ヤマト対沖縄というものを前面に出してやる時代ではないと語った。知事の見解を伺う。</p> <p>(3) 2005年に普天間の移設先として硫黄島を視察された際の経緯を伺う。</p> <p>(4) 中国の軍拡と覇権主義的な行動が懸念されている。また一方では我が国がそれに備えるかのように、同盟関係の強化や防衛政策の見直し、強化を進めつつある。本県にとって大変憂慮すべき状況だと考えるが知事の見解を伺う。</p> <p>(5) 南西諸島への防衛力強化を進める政府の方針と先島諸島への自衛隊配備についての知事の見解を伺う。</p> <p>(6) 仲井眞県政における米国への働きかけについての評価と米国における涉外活動拠点(県の事務所)の設置計画について伺う。</p> <p>(7) 首里城公園は民主党政権下において国から県へ移譲されることになった。県民のアイデンティティーの確立においても大変意義のあることである。県による首里城公園の一体管理を確立するには、那覇市所有の円鑑池等の県への移管を滞りなく進めるべきと考えるが、知事の見解を伺う。</p>			